

令和3年度
椿小学校
「学力向上実行プラン」

(1)知識・技能の習得

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- よくわかる複式授業の実践
- 自主的に取り組むことのできる家庭学習の充実

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員	委員
山下 崇	田上尚, 山下崇, 高松馨太, 瀧本香織, 今田香凛, 林正雄

校長
田上 尚

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○ドリル学習や家庭学習等に真面目に取り組むことができ、該当学年の漢字の読み・書き・計算等において約8割程度の定着がみられる。 ●漢字の読み・書き・計算等において、個人差が大きい学年があり、長期にわたっての定着度が不足している児童もいる。 ●長文の読み取りや工夫して計算する問題に対する理解に時間がかかる。	・基本的な漢字の読み書きや四則計算などの、基礎的・基本的な知識・技能を身につけている。 ・身につけた知識や技能を、他の学習や生活の場面でも活用することができる。	・朝の活動やチャレンジタイムで漢字・計算等のドリル学習を継続的に行う。 ・個人の実態と課題に応じた授業展開をこころがける。 ・タブレットやPCの教材ソフトなどを活用し、基礎的・基本的な学習に対する興味・関心を高める。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○方法や手順が分かる学習には真面目に取り組むことができる。 ●読解力、表現力が乏しく、考えたことを自分の言葉で話したり、書いたりすることに課題があり、自ら進んで表現することに苦手意識がある児童が多い傾向にある。	・みんなの意見を聞き、授業や行事等で積極的に自分の考えを書いたり、話したりし、他者に伝えることができる。	・ペア学習やグループ学習を積極的に取り入れ、児童同士が主体的に対話する場面を増やす。 ・児童の発言や発表の内容に応じて「なぜ」「どうして」などのさらなる発問を行い、考えを深めさせる。 ・人前で話す機会を意図的に企画するようにする。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○落ち着いて学習に取り組むことができ、出された課題や家庭学習などには、真面目にきちんと取り組むことができている。 ●主体的な取り組みに対して、個人差があり、自分で考えて自主的に学習を進められる児童は少ない。	・各教科の学習に主体的に取り組むことができる。 ・家庭学習や苦手な課題についても、自分から積極的に取り組むことができる。	・家庭学習の手引きを作成し、児童・保護者がどのように家庭学習に取り組めばよいのか具体的にわかるようにする。 ・毎週金曜を「自主学習の日」とし、自分に合った分量や内容に取り組むことができるようにする。 ・毎月最終金曜を「家庭読書の日」とし、学校図書を持ち帰らせて、家庭での読書に励むことができるようにする。			

令和3年度 学力向上ロードマップ

